

2008 年度 第 1 回超電導応用研究会シンポジウムのご案内

近年、国際宇宙ステーションの建設や月周回衛星「かぐや」の打ち上げ成功など、我が国の宇宙開発における貢献には目をみはるものがあります。また、宇宙の謎を解明し人類と地球のルーツを探るための多様な宇宙観測や惑星探査も精力的に行われています。一方、宇宙空間の背景温度は 3 K 程度と言われており、太陽光を受けていない空間では極めて極低温環境であることから、その空間に超電導材料を持っていけば超電導状態が自然と発現します。さらに、すでに宇宙応用分野における低温工学の果たしている役割は広く知られています。本シンポジウムでは、我が国の宇宙技術開発を牽引している（独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）において、宇宙応用と超電導・低温技術の切り口から第一線の研究者にご講演頂きます。どの講演も大変興味深く、また宇宙のロマンの中で超電導・低温工学が役立っていることを実感して頂けます。また、JAXA 相模原キャンパスの見学会も企画しましたので奮ってご参加ください。

記

テーマ： 超電導・低温技術と宇宙応用

日時： 2008 年 7 月 10 日（木） 13:00－17:00

場所： 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパス 新 A 棟 2 階会議室
（〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1）

交通案内： JR 横浜線淵野辺駅から：淵野辺駅 2 番乗り場「36,37 淵野辺駅」行き循環バス「市立博物館前」下車、徒歩 2 分（乗車時間約 10～15 分）
小田急線相模大野駅から：相模大野駅 5 番乗り場「02 相模原駅」行きバス「宇宙科学研究本部入口」下車、徒歩 5 分（乗車時間約 20 分）
（ホームページ：<http://www.isas.jaxa.jp/j/inspection/index.shtml>）

参加費：（資料代）：2,000 円

プログラム：

13:00－13:05	開会挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	超電導応用研究会委員長
13:05－13:45	天文ミッションと冷却技術・・・・・・・・・・・・・・・・	中川貴雄(JAXA)
13:45－14:25	再突入飛行における磁気シールド効果について（暫定）・・・・・・・・	安部隆士(JAXA)
14:25－14:35	休憩	
14:35－15:15	超電導コイルを利用した宇宙機推進システムー磁気プラズマセイルー・・	山川宏(京大), 船木一幸(JAXA)
15:15－15:55	宇宙用冷凍機開発の現状と今後の課題（暫定）・・・・・・・・	大塚清見(住友重機)

16:00－17:00 見学会

オーガナイザ： 船木一幸（JAXA），長嶋賢（JR 総研），中村武恒（京都大学）

※ ご参加頂ける方は、事前に下記宛ご連絡をお願い致します。

問合せ・事前連絡先： 京都大学大学院工学研究科電気工学専攻 中村武恒

〒615-8510 京都市西京区京都大学桂一番地

TEL 075-383-2221 FAX 075-383-2224 E-mail [tk_naka\(a\)kuee.kyoto-u.ac.jp](mailto:tk_naka(a)kuee.kyoto-u.ac.jp)
（(a)を@に変更下さい）